

浅口市下水道事業経営戦略

団 体 名 : 浅口市

事 業 名 : 特定環境保全公共下水道事業

策 定 日 : 令和 2 年 4 月

計 画 期 間 : 令和 2 年度 ~ 令和 11 年度

1. 事業概要

(1) 事業の現況

① 施設

供用開始年度 (供用開始後年数)	平成8年度 (23年)	法適(全部適用・一部適用) 非適の区分	一部適用
処理区域内人口密度	23.1 人/ha	流域下水道等への 接続の有無	接続なし 単独で終末処理を行っている事業
処 理 区 数	1処理区(寄島処理区)		
処 理 場 数	1箇所(寄島浄化センター)		
広域化・共同化・最適化 実施状況*1	汚水処理施設の効率的かつ効果的な整備のため、平成27年度にクリーンライフ100構想の見直しを実施、平成28年度には浅口市公共下水道システムの再構築に着手。		

*1 「広域化」とは、一部事務組合による事業実施等の他の自治体との事業統合、流域下水道への接続を指す。
「共同化」とは、複数の自治体で共同して使用する施設の建設(定住自立圏構想や連携中枢都市圏に基づくものを含む)、広域化・共同化を推進するための計画に基づき実施する施設の整備(総務副大臣通知)、事務の一部を共同して管理・執行する場合(料金徴収等の事務の一部を一部事務組合によって実施する場合等)を指す。
「最適化」とは、①他の事業との統廃合、②公共下水・集排、浄化槽等の各種処理施設の中から、地理的・社会的条件に応じて最適なものを選択すること(処理区の統廃合を含む。)、③施設の統廃合(処理区の統廃合を伴わない。)を指す。

② 使用料

一般家庭用使用料体系の 概要・考え方	基本使用料 8立方メートルまで:1,320円 超過料金 8立方メートルを超え30立方メートルまで:154円 30立方メートルを超え50立方メートルまで:176円 50立方メートルを超え100立方メートルまで:198円 100立方メートルを超える量:220円				
業務用使用料体系の 概要・考え方	一般家庭用と同じ				
その他の使用料体系の 概要・考え方					
条例上の使用料*2 (20㎡あたり) ※過去3年度分を記載	平成28年度	3,110 円	実質的な使用料*3 (20㎡あたり) ※過去3年度分を記載	平成28年度	3,367 円
	平成29年度	3,110 円		平成29年度	3,387 円
	平成30年度	3,110 円		平成30年度	3,391 円

*2 条例上の使用料とは、一般家庭における20㎡あたりの使用料をいう。

*3 実質的な使用料とは、料金収入の合計を有収水量の合計で除した値に20㎡を乗じたもの(家庭用のみでなく業務用を含む)をいう。

③ 組織

職 員 数	資本勘定所属職員 1人					
事業運営組織	<p>平成18年3月の浅口市発足当初は、損益勘定所属職員1人、資本勘定所属職員1人の体制であったが、業務の集約、見直し等により現在は寄島総合支所産業建設課により上記職員数で事業運営を行っている。合併10年が過ぎ、市役所組織全体の中で、総合支所の見直しが検討されており、今後は下水道課への業務集約を見据えて検討をすすめていく。</p>					

浅口市役所	上下水道部	下水道課	工務係	5人	資本勘定	損益勘定	5人
	部長 損益勘定	課長 損益勘定				公共	
			業務係	2人		損益勘定	資本勘定 5人
	金光総合支所	産業建設課	上下水道係	1人		損益勘定	
	寄島総合支所	産業建設課	上下水道係	1人	資本勘定	特環	資本勘定 1人

(2) 民間活力の活用等

民間活用の状況	ア 民間委託 (包括的民間委託を含む)	電算、処理場維持管理、水質検査、汚泥処理、機械点検整備等
	イ 指定管理者制度	未検討
	ウ PPP・PFI	未検討
資産活用の状況	ア エネルギー利用 (下水熱・下水汚泥・発電等) *4	該当なし
	イ 土地・施設等利用 (未利用土地・施設の活用等) *5	該当なし

*4 「エネルギー利用」とは、下水汚泥・下水熱等、下水道事業の実施に伴い生じる資源(資産を含む)を用いた収入増につながる取組を指す。
 *5 「土地・施設等利用」とは、土地・建物等、下水道事業の実施に不可欠な資産を用いた、収入増につながる取組を指す(単純な売却は除く)。

(3) 経営比較分析表を活用した現状分析

※直近の経営比較分析表(「公営企業に係る「経営比較分析表」の策定及び公表について」(公営企業三課室長通知))による経営比較分析表を添付すること。

平成30年度決算数値から策定し、令和元年度に公表した、「経営比較分析表」を添付している。
 この経営比較分析表を活用することにより、経年比較や他の公営企業との比較、複数の指標を組み合わせた分析を行い、経営の現状及び課題を的確かつ簡明に把握することが可能となる。

2. 将来の事業環境

(1) 処理区域内人口の予測

○処理区域内人口は減少していく見込みである。

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
処理区域内人口	5,066	5,043	5,022	5,004	4,988	4,676	4,619	4,563	4,506	4,449

(2) 有収水量の予測

○有収水量は人口減少と共に減少していく見込みである。

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
有収水量	378,606	376,900	375,336	373,985	372,776	349,455	345,189	340,994	336,728	332,533

(3) 使用料収入の見通し

○使用料収入は人口減少と共に減少していく見込みである。

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
使用料	60,818	60,544	60,293	60,076	59,881	56,135	55,450	54,776	54,091	53,417

(4) 施設の見通し

○維持管理を中心に行っていくことを予定している。

(5) 組織の見通し

○現状の体制維持を予定している。

3. 経営の基本方針

○適切で計画的な事業執行

市民の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全のため計画的に施設整備を行っていく一方、老朽化していく施設の長寿命化・ストックマネジメントを検討・実施していく。更に、人口減少が進行していくことが予想されるため、使用料水準等も検討した上で、財政計画を策定し計画的な経営をしていく必要がある。また、令和2年4月に企業会計を導入し、将来の改築及び維持管理に係る費用を的確に把握するとともに、負担区分の明確化や資産の把握など、事業の安定的な継続を実現する企業経営を構築する。

○効率的な事業執行

業務の効率化とコスト削減に積極的に取り組み、民間活力の利用等の検討していく。

○収入の確保と負担の適正化

財政基盤の強化のため、収入の確保と一般会計の負担区分の適正化を図る。また、収入確保のため使用料の収納率を向上させると共に、国庫補助や企業債等についての的確に資金調達を行っていく。

○水洗化の促進

公共用水域の水質保全のため、下水道未接続者の解消に向け、広報紙、HP等を活用して啓発を行っていく。

○危機管理体制の充実

近年頻発する自然災害に備えるため、BCP(業務継続計画)を策定し、安定したサービスの提供を目指す。

4. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり

※ 赤字がある場合には(3)において、その解消方法が示されていることが必要

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

目 標	○寄島処理区は概ね整備済みである。
-----	-------------------

○管渠、処理場等の建設・更新に関する事項
管渠・処理場等の更新は、H29～31にかけて行うストックマネジメントの検討に基づいて行う。

② 収支計画のうち財源についての説明

目 標	○整備が完了しているため、企業債、国庫補助に係る収入については直近で予定しているものを除き発生しない見込みである。
-----	---

○使用料収入の見直し、使用料の見直しに関する事項
当処理区は、市内でも特に高齢化、人口減少が見込まれる地区であることから、使用料収入については減少を見込んでいる。

○企業債に関する事項
直近で予定しているものを除き、発行しない見込みである。

○繰入金に関する事項
一般会計からの繰入金については、年度ごとの維持管理費及び資本費から、繰出基準ごとに積み上げて算出している。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

○職員給与費に関する事項
職員数は現状を維持するものとする。

○動力費に関する事項
直近の予算額に、今後の動向を踏まえた伸び率をかけて算出している。

○薬品費に関する事項
直近の予算額をもとに算出している。

○修繕費に関する事項
直近の予算額をもとに算出している。

○委託費に関する事項
直近の予算額をもとに算出している。

(3)投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュールや必要に応じて経費回収率等の指標に係る目標値を記載すること。

* (1)において黒字の場合においても、投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。

① 今後の投資についての考え方・検討状況

* 処理区ごとに考え方が異なる場合は、処理区ごとに記載すること

広域化・共同化・最適化に関する事項	近隣団体と情報交換を行い、広域化・共同化・最適化による事業効率の向上を検討していく。
投資の平準化に関する事項	長寿命化・ストックマネジメントの実施により、建設改良費を平準化させる。
民間活力の活用に関する事項 (PPP/PFIなど)	事業の公共性・効率性を考慮し、今後の検討課題とする。
その他の取組	該当なし。

② 今後の財源についての考え方・検討状況

使用料の見直しに関する事項	法適用に伴い、減価償却費及び一般会計繰入金と併せ、使用料体系の見直しを検討する。
資産活用による収入増加の取組について	活用できる資産がないため、検討していない。
その他の取組	建設改良費に係る財源について、国の補助事業の活用や交付税措置の有利な起債借入等、適切な財源確保について検討する。

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

民間活力の活用に関する事項 (包括的民間委託等の民間委託、指定管理者制度、PPP/PFIなど)	事業の公共性・効率性を考慮し、今後の検討課題とする。
職員給与費に関する事項	本市の給与制度による。
動力費に関する事項	機器の適正な運用を図り、コスト削減に努める。
薬品費に関する事項	コスト削減が可能か検討していく。
修繕費に関する事項	長寿命化・ストックマネジメントの実施により修繕費を抑制する。
委託費に関する事項	処理場維持管理、汚泥処理に係る委託費が年々増加しており、より安価で有効な方法を検討する必要がある。また、現行の環境モニタリング調査の実施内容を再検討し、コスト削減に取り組む。
その他の取組	該当なし。

5. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

経営戦略の事後検証、改定等に関する事項	毎年度、進捗管理(モニタリング)を行い、5年毎を目処に見直し(ローリング)を行う。
---------------------	---

投資・財政計画 (収支計画)

(単位:千円)

区 分		年 度									
		本年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
資本的収入	1. 企業債	16,200									
	うち資本費平準化債										
	2. 他会計出資金	68,926	102,186	104,638	99,230	90,464	82,240	61,366	56,343	30,875	16,229
	3. 他会計補助金										
	4. 他会計負担金										
	5. 他会計借入金										
	6. 国(都道府県)補助金	19,800									
	7. 固定資産売却代金										
	8. 工事負担金	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90
	9. その他	73,260									
	計 (A)	178,276	102,276	104,728	99,320	90,554	82,330	61,456	56,433	30,965	16,319
	(A)のうち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (B)										
	純計 (A)-(B) (C)	178,276	102,276	104,728	99,320	90,554	82,330	61,456	56,433	30,965	16,319
資本的支出	1. 建設改良費	116,866	13,419	13,471	13,523	13,576	13,629	13,682	13,735	13,789	13,843
	うち職員給与費	10,367	10,419	10,471	10,523	10,576	10,629	10,682	10,735	10,789	10,843
	2. 企業債償還金	179,457	182,441	182,880	176,296	159,422	148,177	127,192	121,558	92,028	76,992
	3. 他会計長期借入返還金										
	4. 他会計への支出金										
	5. その他										
計 (D)	296,323	195,860	196,351	189,819	172,998	161,806	140,874	135,293	105,817	90,835	
資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (E)	118,047	93,584	91,623	90,499	82,444	79,476	79,418	78,860	74,852	74,516	
補填財源	1. 損益勘定留保資金	93,817	93,584	91,623	90,499	82,444	79,476	79,418	78,860	74,852	74,516
	2. 利益剰余金処分量										
	3. 繰越工事資金										
	4. その他	24,230									
計 (F)	118,047	93,584	91,623	90,499	82,444	79,476	79,418	78,860	74,852	74,516	
補填財源不足額 (E)-(F)											
他会計借入金残高 (G)											
企業債残高 (H)	1,468,910	1,286,469	1,103,589	927,293	767,871	619,694	492,502	370,944	278,916	201,924	

○他会計繰入金

(単位:千円)

区 分		年 度									
		本年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
収益的収支分		132,922	104,224	98,222	93,095	81,573	79,224	77,222	75,194	69,956	68,866
	うち基準内繰入金	132,922	104,224	98,222	93,095	81,573	79,224	77,222	75,194	69,956	68,866
	うち基準外繰入金										
資本的収支分		68,926	102,186	104,638	99,230	90,464	82,240	61,366	56,343	30,875	16,229
	うち基準内繰入金										
	うち基準外繰入金	68,926	102,186	104,638	99,230	90,464	82,240	61,366	56,343	30,875	16,229
合 計		201,848	206,410	202,860	192,325	172,037	161,464	138,588	131,537	100,831	85,095

経営比較分析表（平成30年度決算）

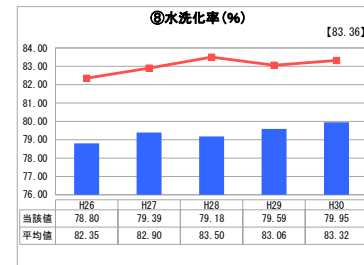
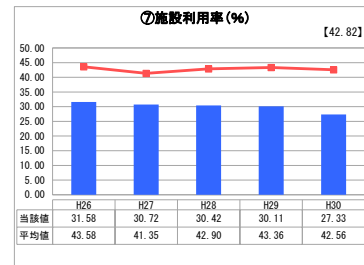
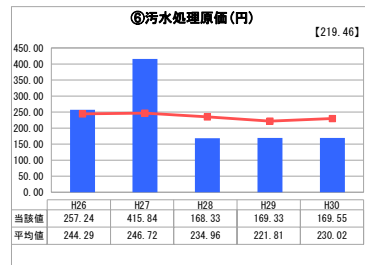
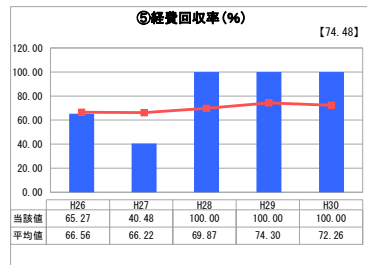
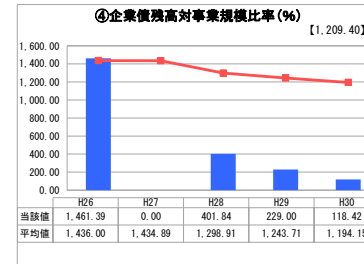
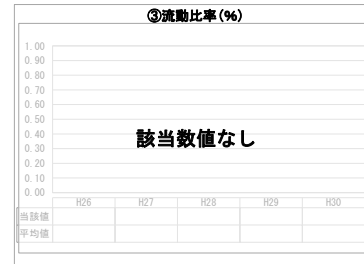
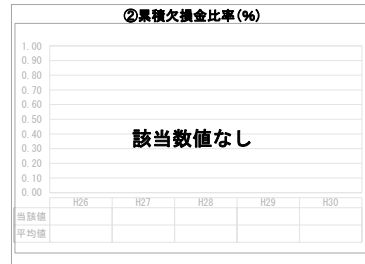
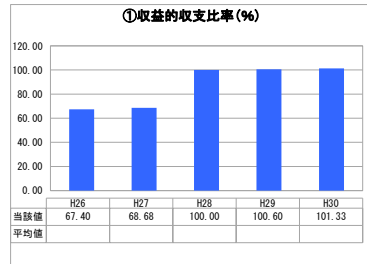
岡山県 浅口市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	14.89	99.57	3,110

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
34,498	66.46	519.08
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,122	2.22	2,307.21

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成28年に一般会計からの繰入金の基準の見直しを行い基準内繰入金が増加したため、総収益が増加し①収益的収支比率は100%を超えた値を維持している。これに伴い、⑤経費回収率及び⑥汚水処理原価は前年度と同じ水準で推移している。

長寿命化・ストックマネジメントの実施により引き続き修繕費抑制を図るほか、処理場維持管理・汚泥処理の安価な方法を検討する必要がある。

⑦施設利用率は平均値より低い。面整備がほぼ終了しているため、今後利用率を向上させる方法について検討が必要である。

⑧水洗化率は横ばいであり、引き続き更なる水洗化の推進のため広報媒体での啓発を進めていく。

2. 老朽化の状況について

建設事業開始は平成3年であり、それ以前に造成した団地の設備も受贈している。管渠は耐用年数に達していないが、ストックマネジメント計画に基づき主要管渠の点検を行っている。

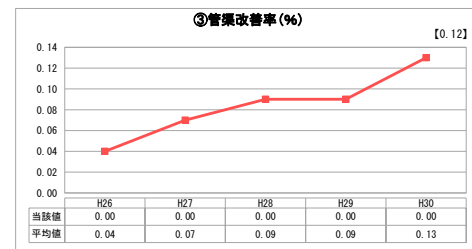
今後の安定的で継続的な下水道サービスの供給のため、施設の長寿命化や施設更新など総合的な計画を策定し、老朽化対策を講ずる予定である。

全体総括

現在面整備はほぼ完了しており、今後は水洗化率や施設利用率の向上を目指して検討していく。

また、経費回収率や汚水処理原価は類似団体平均より優位な状況であるが、一般会計からの繰入金に依存している状況であり、引き続き汚水処理費の低減に向けた取り組みが必要である。

2. 老朽化の状況



※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。